



【八幡川の生きもの調査】

令和4年8月20日（土）8:30～12:00
（種同定は15:00まで）

場所：志津川中学校下八幡川
南三陸町自然環境活用センター

スタッフ：株式会社エコリス
南三陸ネイチャーセンター友の会
志津川淡水漁業組合
南三陸町自然環境活用センター



「何の調査をしたの？」

志津川高校自然科学部による八幡川の生きもの調査に参加しました。今回は、志津川中学校下の八幡川で、高校生の先輩と一緒に虫や魚を採りました。また、将太博士のレクチャーにより、環境DNA調査用の川水の採取も行いました。午後には、自然環境活用センターの実験室で、採取した川水から環境DNAをろ過する作業と、採ってきた生きものの種同定作業（種類別に分けた生きもの名前を調べて数を数える）も行いました。



川の生きもの採取



DNA用川水採取



エコリスのみなさんによる
生きものレクチャー

「午後は活用センターにきたよ！」



DNAろ過作業



種同定作業

「DNAって何？」

DNAは、人の目では直接見えませんが、横のイラストのようにグルグルとした二重螺旋（らせん）の形をしていて、生物の遺伝子情報を親から子へと伝える物質です。DNAを調べると、個人の識別や生きものの種類の判定などができます。今回の調査の場合、生きものの排泄物、はがれ落ちた皮ふやウロコなどに含まれるDNAを、川水からろ過して、どんな生きものが八幡川に住んでいるのかを調べます。ちなみに、調査結果が分かるのは12月ごろになるそうです。



「どんな生きものが採れたの？」

〈魚〉アユ、ボラ、ウグイ、ヌマチチブ、シマヨシノボリ、シマウキゴリ、ミミズハゼ、ウツセミカジカ

〈エビ・カニ〉ヌマエビ、モズクガニ

〈虫〉ヒゲナガカワトビケラ（幼虫）、ヘビトンボ（幼虫）、コガタシマトビケラ属、カクツツトビケラ属、ウスバガガンボ属、オナシカワゲラ属、マダラカゲロウ科、アカマダラカゲロウ、モンキマメゲンゴロウ、オジロサナエなど

合計 約30種でした。



【調査隊の活動が、こどもエコクラブ全国事務局ホームページに掲載されます！】

南三陸少年少女自然調査隊の活動報告は、こどもエコクラブのホームページにその都度掲載されます。みなさんもぜひご覧ください。

<http://www.i-ecoclub.jp/ecoreport/list.php>

【次回の予定】 9月24日（土）：スノーケリング海中観察

今回は、サンオーレそではまでスノーケリングによる海中観察を行います。志津川湾がラムサール条約登録湿地になったキーパーソンの一つである、海の中にある海藻と海草（うみくさ）の森「藻場（もば）」を自分の目で見る事ができる絶好のチャンスです！「泳げないなあ」と不安な隊員でも、大人のサポーターの方々がそばについてくれますので、ぜひご参加ください！

